

「理科」学習指導案

1. 日時 平成27年6月
2. 場所 園芸室
3. 学部・学年・組 高等部 第2、3学年
4. 単元名 「図鑑上での検索」
5. 単元目標 生物の名前を知り、特徴について理解する。
6. 生徒観 略

7. 教材観

本単元では図鑑を用いた調べ学習を通して、必要な情報を調べる、分からないことや確認したいことを人にわかりやすく質問する、質問にわかりやすく答えることができる力をつけたいと考える。また、今年度の理科学習を通して生物の多様性を実感させ、生徒の生物観を広げるとともに、自然環境を大切にする知識と感性を養いたい。

8. 指導観

本単元においては、出題者チームと種同定チームに別れ、種同定をするチームが出題者チームに質問をし、得た情報をもとに調べ学習を進めるというゲーム形式の展開をしたいと考える。ただ図鑑を読むだけでは十分に内容が理解できない生徒がいるため、図鑑を見ながら質疑応答することで内容の理解を深めたい。また、出題する生物も自然界によくある個体差による相違をなくすため、図鑑の中から出題させるようにし、全員一致した答えを導き出せるようにして、参加生徒全員が一致して種の同定方法を学べるようにする。さらに、同じチームの生徒間で発言機会の偏りがでないよう、グループ編成にも配慮し授業を進めたい。

9. 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
① 積極的に発言できる	① 質問に対してわかりやすく答えを返すことができる ② 必要な質問内容を考えて質問できる	① 図鑑を利用して生物の名前を検索することができる	① 質問された情報が図鑑のどの部分に書いているか理解できる ② 図鑑上で似ている生物同士の異なる部分を探せる

10. 単元の指導と評価の計画（全3時間） 本時：第3時限目

次	時	学習内容	評価規準			
			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
第一次	1	ゲームのルール理解		○		○
	2	図鑑の効率的なひき方	○	○		
	3 (本時)				○	○

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・図鑑と得られた情報から、生物名を調べることができる。

(2) 本時の評価規準

- ・図鑑を利用して生物の名前を調べられる。(観察・実験の技能)
- ・図鑑上で似ている生物同士の異なる部分を探せる(知識・理解)

(3) 本時で扱う教材・教具

- ・ポケット図鑑 日本の昆虫1400 ②トンボ・コウチュウ・ハチ 文一総合出版 槐真史編

(4) 児童生徒の実態と本時の目標 略

(5) 本時の学習過程(40分)

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援のてだて等	評価規準
5分 導 入	座席の移動 (授業開始前) 挨拶 出席確認 役割を決める	・出題者は、時間内に出題生物を決められるように声かけする。	
25分 展 開	「種同定ゲーム」 調べるチームは回答チームに生物の特徴を質問する。 得られた情報をもとに図鑑で調べて、生物をしばらくこむ。	・全員が質問できるように支援する。 ・わかりにくい部分があれば教員から補足していく。 ・質問と回答をホワイトボードに板書して、質問の可視化を図る。	・図鑑を利用して生物の名前を調べられる。(観察・実験の技能) ・図鑑上で似ている生物同士の異なる部分を探せる(知識・理解)

	その他のチームはどんな質問が出たか聞いてプリントに記入する		
10分 ま と め	「出題生物の確認」 どのような質問が有効であったか振り返る 次回の連絡 挨拶	・質問があれば時間をとる ・正解の決め手となった質問を振り返り、確認させる。	

(6) 教室配置等 略

＊備考

◇当該教科・領域の年間指導計画 略

◇板書計画

6月〇日 (〇)

◆種同定ゲーム

- ・分類の質問は「科」まで
- ・記載の無い部分は記載無しと申告
- ・質問時間は3分
- ・できるだけみんなで質問していこう！

ここに質問と回答を列挙していく